

令和7年3月11日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立第一中学校
校長 原田 恵一

令和6年度 目黒区立第一中学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

(1) 第1回実施日時 令和6年7月2日(火) 午前10時00分～午前11時00分

- ・令和6年度の学校経営方針について(校長より)
- ・生徒の様子、学校行事、学校評価について(副校長)

(2) 第2回実施日時 令和7年1月28日(火) 午前10時～午後12時30分

- ・授業視察(第3校時に視察)
- ・学校評価結果の報告(副校長)
- ・意見交換

2 参加者

都立 駒場高等学校 副校長	梅 沢 久 武 様
目黒若葉寮 施設長	小 林 悠 樹 様
青少年委員	亀ヶ谷 尚 也 様
菅刈住区住民会議	樋 爪 佳 子 様
主任児童委員	木 原 美 紀 子 様

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	四者※による学校評価アンケートの結果分析 ◎(成果)、●(課題)、 ⊙(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見
①学校評価の回収率	<p>●地域の方については、回収数が昨年倍増近くになりましたが、今回は半減以下になった。住区センターの回収数も伸び悩んだことが原因であると思われる。</p> <p>●保護者の回収率が昨年度に引き続き、大幅に下がっている。回答率の減少傾向は続いており、特別な</p>	<p>・昨年度よりオンラインアンケートを実施している。未回答の人には複数回依頼して回収率を上げていく。</p> <p>・保護者の回答率があるよう、複数回協力を呼びかけていく。</p>	<p>・学校に対して積極的な意見をもっていない家庭については、回答しない傾向が見られる。</p> <p>・オンラインにすると回答はしやすいが、後回しにしがちで取りかかりが悪い傾向がある。</p> <p>・回答の再連絡の通知は有効であるが、必ず回答しなければなら</p>

	意見をもたない保護者の場合、積極的に回答しない傾向があると考えられる。		ないという意識は低い傾向がある。
②学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて	◎『学校生活は、充実していますか。』という質問に対して、普段からほとんどの生徒は満足した学校生活ができているといえる。生徒の肯定的な評価は昨年度よりもさらに伸びて92%近い数値を示している。 ◎四者すべてで肯定的な評価が90%を超え、高い数値を維持している。	・今後も授業時数を確保しながら、行事の精選を進め、地域の方々の交流も踏まえながら、生徒が達成感・充実感を味わえるものにしていく。	・全体非常に落ち着いた雰囲気で学校生活を送っている。
③ I 教育目標について ・教育目標、時程、教育内容全体について	●本校で進めている教育実践の成果は、保護者を除く三者で80%を超えているものの、昨年度よりも減少傾向が見られた。 ●教育目標については、情報提供等が足りなかったためか、特に保護者の肯定的な評価が8ポイント近く下がった。中には教育目標の言葉の意味が意外と理解しにくいものがあるのではないかという意見もあった。	・学校ホームページの更新のほか、保護者の理解を得られるように一層継続していく。 ・教育目標の定着を図りながら、これからも生徒に満足感・達成感を得られるように教育活動を充実させていく。	・教育目標については、シンプル化して繰り返し話し続けることが大切である。

<p>④Ⅱ 心の教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科(道徳)の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について 	<ul style="list-style-type: none"> ◎教科書以外からも題材を提供する等、普段から工夫された授業実践ができています。そのためか、生徒・教職員で100%もしくはそれに迫る高い数値を維持している。 ◎生徒の道徳的実践については、かなりの理解が得られており、保護者の肯定的な評価は、昨年度より9ポイント近く上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の取組は工夫があり、生徒の満足度も高い。今後も、教職員の人権感覚の向上に努め、保護者が生徒を安心して任せられる学校づくりを進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳地区公開講座に保護者の参加が見られ、本校の道徳科の授業への理解が一層進んでいるものと判断される。
<p>⑤Ⅲ 学習指導等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、少人数指導、主体的に学習に取り組む態度等の取組について ・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について 	<ul style="list-style-type: none"> ◎少人数指導をはじめ各教科で丁寧な指導を重ねた成果か、肯定的な評価が保護者を除いて90%を超える高い数値を維持している。 ●日々の授業における生徒が主体的に発言したり、話し合い活動したりする場面が少ないという意見もありましたが、学校公開期間の少ない授業見学だけではなかなか理解が得られない部分もあると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語科・数学科・理科の少人数授業等丁寧な指導を継続して成果を上げていく。 ・どの教科においても、生徒自身が主体的に考え、友達と話し合いながら協働的に学ぶことができる場面を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は主体的に落ち着いて学習に取り組んでおり、生徒自身及び教職員において、肯定的な評価は昨年度よりも上昇し、かなり高水準である。 ・一方、保護者評価が昨年度よりも下降している。これは現状に満足することなく、保護者の求めるものが現実よりもかなり高水準にあることが原因していると分析される。
<p>⑥Ⅳ 体育・健康教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上、健康の促進に向けた取組について 	<ul style="list-style-type: none"> ◎単元に合わせた補強運動を必ず入れることが定着してきているので、生徒、教職員の肯定的な評価が90%以上と高い数値 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業で単元に合わせた補強運動を入れること。 ・これからもキャロットカップを計画的に入れて楽しみながら 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページや学年だより等で活動状況を一層アピールしながら継続していく必要がある。

	<p>を維持している。</p> <p>●楽しみながら運動に親しむことで、体力向上に結びつくよう、昼休みに全校でキャロットカップ等を開催している。一部の保護者で理解はしていただいているものの、これからも保護者への情報発信は続けていく。</p>	<p>体力の向上を目指す。</p> <p>・今後も学校の取組を学校ホームページなどで保護者に知らせていく。</p>	
<p>⑦V 特別活動について</p> <p>・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の活性化などについて</p>	<p>◎学校の様子が少しずつ周知できたためか保護者・地域からの肯定的な評価は、四者全てで高数値を示しており、地域の方々や教職員では100%を達成している。</p>	<p>・生徒を除く三者で肯定的評価は、昨年度よりも上昇しており、高数値を維持しているので、今後も学校行事や部活動等の充実を目指していく。</p>	<p>・今後も地域と連携した教育活動を推進していけるとよい。</p>
<p>⑧VI 学校生活全般について</p> <p><生活指導></p> <p>・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて</p>	<p>◎生徒で昨年度より5ポイント程度低下したものの、四者全てで高数値を示している。</p> <p>◎地域の方々のサンプル数は少ないものの、地域の方々からの肯定的な評価が8ポイント以上大幅に上がった。特別支援教育の取組も含めて本校の生活指導についての理解はかなり高まっているといえる。</p>	<p>・毎月第3木曜日の地域の方々との教職員、生徒が一体となったあいさつ運動の実施によって、特に地域の方々に肯定的な意見が大幅に高まったといえる。今後も学校全体で挨拶運動を継続していきたい。</p>	<p>・生徒は安心して学校生活を送れている。</p> <p>・学校ホームページの更新により、本校の活動状況についての理解はより深まっている。</p>

<p>⑨ 〈防災教育-安全指導〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて 	<p>◎ 毎月の実践を通して、生徒、教職員の肯定的な評価が 100% に迫る高い数値を維持している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、安全指導等生徒は真面目に取り組むことができている。今後も様々な震災を想定して、人災を減らしていけるように実施していく。 ・今後も学校ホームページや学年だよりで保護者の理解を得られるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域や消防署警察署等と連携した防災訓練やセーフティ教室を中心に、今後も様々な想定の下で実践的な訓練を積んでいってほしい。
<p>⑩ <幼・保・小・中連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について ・近隣の幼稚園・保育園との連携について 	<p>◎ 小中連携をとおし、近隣校との連携が続けられており、保護者、教職員ともに昨年に続いて高い数値を維持している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で熱心に取り組んでいる挨拶運動を中心に、今後も活動に工夫を加えて継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域に開かれた学校として、小学校・幼稚園・地域と連携して取り組んでいってほしい。
<p>⑪ VII 情報の発信、家庭・地域との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信や地域人材の活用、保護者の協力状況、PTA 活動の充実などについて 	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎日の学校ホームページの更新で学校の様子が伝えられているものの、保護者の肯定的な評価が昨年度より低下し、7割台となった。 ● 情報発信はできているが、保護者の期待度がより高いことが認識できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は学校ホームページで授業や校内における行事の様子を伝え、閲覧者が毎日 100 から 200 人位になっているので今後も継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページにより、本校の教育活動の様子が分かりやすく伝えられているが、保護者が求める基準がかなり高いので、今後も一層情報発信と地域連携は強化していくことが望まれる。
<p>⑫ VIII 教員の人材育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について 	<p>◎ 少ない人員で役割分担をしているため、様々な業務への理解が進みやすく、昨年度よりも 7 ポイント近く上昇し、肯定的な評価が 100% を達成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・学年において、少人数で専門性や協働的な活動を大切にして、今後も職務に当たる。 ・教育公務員として、公立学校で職務に当たる意義と共通認識及び共通実践していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も教育公務員としての研修を深めてほしい。

<p>⑬Ⅸ 教員の働き方改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について 	<p>◎働き方改革を大切に進められたせいか、肯定的な評価が昨年度より 10 ポイント以上上昇し、94%に迫る高い値を維持している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間外労働を減らし、仕事の割り振りを均一化させる努力を実行したが、特定の人に偏りがちな傾向は完全には改善できていない。教職員の意識改革と並行して進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も充実した教育活動の実現を目指しつつ、教職員の働き方改革も進めてもらいたい。
--	---	---	---